

埼玉県理容美容専門学校  
学校関係者評価委員会

【日 時】 2022年6月30日

【会 場】 埼玉県理容美容専門学校・浦和校舎 2階学生ホール

【委 員】 評価委員 4名

委員長	校 長	増村 信雄
	学校本部長	島田 美紀
	教務課長	千住 義祐
	学校参与	浦野 智子

1. 開会の辞（校長 増村信雄）2022年度 自己点検評価委員会を開催することを宣言
2. 校長挨拶（校長 増村信雄）

2021年は新校舎移転計画と「新型コロナウイルス感染症」対策の1年間となり、困難を極めた。こうした環境の中で学生の進級と卒業そして学生生活の安全が優先課題となった。この環境下での成果及び問題点などに着目して、活発な意見交換を求める。

### 3. 審議事項

#### （1）教育理念・目標

校長 / ① 本校の教育理念を達成するべく、新校舎では「高度な実践教育」にふさわしい施設設備を計画している。また業界団体及び企業連携も「新型コロナウイルス感染症」の脅威が減じたことから活発に実施できた。よって「5」の評価としたい。

千住 / ② ③職業教育の充実のためカリキュラムを見直している。「毛髪科学」をオムニバス形式の授業とし、化粧品化学に関するメーカーの演習や、大学教授による心理学の講義をはじめ、有名サロンの理美容師による実践授業を取り入れた。職業教育として②は「5」が妥当と考える。また、③についても「5」の評価で良いと考える。

④ 総合型選抜のアドミッション・ポリシーを通じて本校志望者には本校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は周知している。保護者に関しては保護者説明会などの機会を通して周知を図っている。「5」は妥当と考える。

⑤ 各科の教育目標については、理容業界には「思いやり」をテーマに介護理容へのニーズを踏まえたカリキュラムを設け、美容業界には生涯教育も踏まえて「おもてなし」を手テーマに日本文化をふまえた和装着付けとヘアセットイングを実施している「5」の評価と考える。

#### （2）学校運営

校長 / ① ② ③ 緊急対応として「新型コロナウイルス感染症」に関する拡大防止について対応しつつ、進級・卒業を最優先の目的において運営した。これは、(1)の教育目標に沿う運営方針として評価したい。②及び③に関しては①の方針に基づきリーダー会議、理

事長の参加する運営者会議にて年度計画として策定し、理事会、評議委員会の承認を得たうえで計画されている。①②③については寄付行為やその他の規定に沿って行われており、いずれも「5」としたい。

島田 / ④ 人事や給与については就業規則や給与規定を整備し、又法令に基づき適正に運用されているので「5」としたい。

⑤ 教務・財務等の組織整備については③と同様に整備されているので「5」としたい。

⑥ 業界や地域社会に対するコンプライアンス体制は整備の見直しを図っている。過渡期にあたるので「4」としたい。

千住 / ⑦ 教育活動の情報公開はホームページを用いて実施している。教育課程編成委員会の議事録、シラバス、就職状況及び校外活動についても順次公開している。これは「5」の評価としたい。⑧の情報システム化については整備中であり「4」としたい。

### (3) 教育活動

千住 / ①～⑤に関して、(1)の教育理念と目標に沿って理容師・美容師の資格取得に向けた指導体制を確立している。⑪⑫では業界団体等と連携し、実践的な職業教育を行っている。また⑧教育課程編成委員会や学校関係者委員の審議内容等を、体系的なカリキュラム編成に活かしているため、「5」の評価としたい。また⑦⑨については単位履修規定を設け客観的な指標としてGPAを算出するなど明確化をはかっている。⑩に関しても基本カリキュラム中に資格取得に必要な知識や技術を取り入れ、段階的に上位資格の取得が可能な体制をとっている。但し⑥については、感染症対策のため十分に実施できなかったため「4」に留まる。

⑬に関しては「新型コロナウイルス感染症」対策のため外部の研修参加が困難であったため「4」とし、その他学内での研修などを評価して⑭は「5」としたい。

### (4) 学修成果

千住 / ①②について、「新型コロナウイルス感染症」の影響下においても理美容のサロンの求人は堅調であったが、メイク・ブライダル・エステの求人が激減した。このため学生ニーズに応えられたとは言えない。国家試験に関しても100%の結果は果たしていないため「4」の評価としたい。

③の退学率については、「新型コロナウイルス感染症」の影響下でも、低減に取り組めた。また卒業生の社会的活躍や評価を把握して、卒業生の講話やインタビューを在校生の学習意欲の向上に役立てている。またキャリア支援プログラムを行い、学生の就職に対する意識を高めるとともに卒業後も転職や離職時の相談に乗れる体制を整えた。④⑤の項目は「5」の評価としたい。

### (5) 学生支援

島田 / ①の就職に関する支援体制は、専門職員を中心にキャリアガイダンスの実施や学生の個別相談にも対応しており「5」が妥当と考える。②③④は総務課を中心に学生生活に関する支援を整備し、特に経済的な支援体制は既存の経済的支援に加え、文部科学省の「高等教育の修学支援制度」、厚労省の教育訓練給付金等のサポート体制を継続しているので「5」としたい。

但し、⑤の課外活動に対する支援は「新型コロナウイルス感染症」の影響で十分ではなかったため「4」とする。⑥では衛生環境対策としてアルコール消毒薬等の配置など継続支援をし、⑦は学校と保護者がインターネットを利用して即時連絡体制がとれるよう整備を迅速かつ適切に行っている。⑧の卒業生については、進路変更やキャリアアップについて卒業後も継続して支援を行い、Webで相談できる体制を実施しているためこれらは「5」と評価したい。⑩に関しては、埼玉県庁の青少年育成事業、近隣中学校の上級学校インターンシップ、県内高等学校進路部主催の進路学習への参加など十分に連携して、キャリア教育と職業教育に貢献しているとして「5」の評価が妥当と考える。

#### (6) 教育環境

浦野 / ①施設や設備については、教育上の必要性に十分対応できるものを整備するため2022年度に「浦和新校舎」へ移転を完了した。これにより充実した教育環境が達成されたため「5」としたい。

②実務実習については新型コロナウイルス感染症により期間短縮にて実施したため「4」、③の防災体制については、毎年度防災訓練を実施し、災害時の対応や避難訓練を行っている充分であるとは言えない。災害時用の備蓄も計画的に進める過渡期にあたるため「4」としたい。今後は防災に対する体制を整備していきたい。

#### (7) 学生の受入れ募集

千住 / ①、②の学生募集活動は、高校でのガイダンス、保護者向け説明会や個別相談において必要な情報を正確に伝えている。これは「5」としたい。

浦野 / ③の学生納付金については、通常徴収する学費等の全額を公表し、教材費等の徴収額は卒業時に精算して差額分を返金している。よって「5」が妥当である。

#### (8) 財務

浦野 / ①～④は月次毎に会計事務所の精査を受け、年1回の会計監査も、会計事務所の立会いの下、2名の監事により適正に執行されている。また財務情報については、埼玉県情報公開条例の規定に基づき、ホームページ上に公開している。財務の状況は健全であるため「5」の評価としたい。

#### (9) 法令等の遵守

校長 / ①専修学校設置基準や理容師養成施設指定規則・美容師養成施設指定規則、その他関係法令等を遵守していることで「5」の評価が妥当である。

島田 / ②の個人情報の保護は専門の担当を置き、不正侵入に対するネットワーク・セキュリティ強化を図っているが途上であるため「4」としたい。また③の自己評価については、改善の結果についてまだ十分とは言えず「4」としたい。自己評価結果をホームページ上に公開しそれに対する評価と問題点の改善についても公開しているため「5」が改妥当と考える。

#### (10) 社会貢献・地域貢献

千住 / 本校では、県の「夢を見つける！リアル体験教室」に施設と教員を提供して小学生の体験学習を例年受け入れている。また、埼玉県内の中学・高校からのインターンシップ事業への

協力依頼を受けて職業訓練教育を実施した。地域社会への学校施設を利用した貢献や、ボランティア活動も感染対策を十分に行って実施することができたので①～③は「5」の評価としたい。

## 総 評

校長 / 「新型コロナウイルス感染症」の影響がまだ続く中で、学校運営は適正に行われ自己評価も概ね妥当なものと考えられる。  
今後も経済情勢や最近の学生の変化を受け止め、より良い教育指導を行う為にさらなる検討を重ねたい。

以上